

令和 3 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	長野 寛
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3254	
事務事業名		13746 霊園施設整備事業										
所 属		121000 市民環境部・生活環境課										
施 策		13011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	040107 衛生費・保健衛生費・霊園管理費										
	事業	020000 霊園施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
市営霊園整備						市営霊園施設内の整備を行い、使用者の利便性を向上させる。 ・松川霊園内へ新合葬式墓地进行建設する。(H30) ・坂田霊園の擁壁補修工事を行う。(H30-R2) ・松川霊園第一合葬式墓地法名立追加設置工事 (R3) ・松川霊園の駐車場整備測量設計 (R3) ・松川霊園の駐車場整備を行う。(R4)						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
坂田霊園擁壁補修工事 10,285千円	・松川霊園第一合葬式墓地法名立追加設置工事 ・松川霊園の駐車場整備測量設計業務委託
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
松川霊園の駐車場整備工事	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		10,285	1,157
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		10,285	1,157
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	1,393.6	1,393.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,393.6	1,393.6
市民一人当たりの経費		0.2	0.0
総額		11,678.6	2,550.6

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	10,285	坂田霊園擁壁補修工事
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	445	松川霊園駐車場整備測量設計業務委託
14節 工事請負費	712	松川霊園第一合葬式墓地法名立設置工事
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必 要 性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評 価 コメント	坂田霊園の造成（s40年）から経年劣化した擁壁の修繕であり、崩落防止、安全確保のため必要な修繕である。	
有 効 性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評 価 コメント	坂田霊園の造成（s40年）から経年劣化した擁壁の修繕であり、崩落防止、安全確保のため必要な修繕である。	
効 率 性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評 価 コメント	当初計画されていた現行擁壁の上から新たな擁壁を被せる工法を中止し、擁壁空洞部への充填剤注入及び水抜きパイプ増設へと工法を変更し、擁壁現況に応じた現実的で適切な修繕方法を実施した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

・坂田霊園の擁壁補修工事は、経年により劣化した擁壁裏側の目に見えない空洞部の工事であり施工範囲も広いため、補正予算を組むなど難航したが、H30年度から取組んできた坂田霊園全体の擁壁補修工事を完了とした。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
今後も引き続き、必要な霊園の施設整備に努める必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
各霊園において、経年劣化等により修繕等が必要となっている状況であるが、補修整備等を実施する中で適切な維持管理を進めていかなければならない。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	